

新潟  
高教組

## 速報

発行所/新潟県高等学校教職員組合  
/新潟市中央区川岸町2-11/TEL  
(265)4151 / F A X (231)1036 /  
1部10円(購読料は組合費に包含)

発行人 吉田 裕史

2021.7.5

## 募集学級速報①

## 2022～2024 県立高校等再編整備計画公表(2021.6.24)

- ・「将来構想」は中教審答申を踏まえて今後のあり方を検討する
- ・2024年度久比岐高校の募集停止見込み

県議会総務文教委員会が6月24日に開かれ、教育委員会関係の質疑が行われ、「県立高校の将来構想2018～2027」に基づく6回目の「3か年計画」で以下の内容が明らかになった。

## ◆中学卒業生数の見込み

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
中学卒業生数	19807	19716	19148	18343	18885	18443	18450	17932	18176	17578
増減	-1312	-91	-568	-805	542	-442	7	-518	244	-598
学級数	-30	-4	-16	-16	7	-9	-1			

## ◆再編整備の概要

<2022年度> 中学卒業生数542人増、7学級増(9増2減)

- ・阿賀黎明に地域探究コース(仮称)を設置する。
- ・高田高校安塚分校を募集停止とする。

<2023年度> 中学卒業生数442人減、9学級減(1増10減)

- ・新発田商業情報処理科を募集停止とする。
- ・国際情報海外大学進学コースを廃止し、くくり募集を行う。
- ・松代に地域探究コース(仮称)を設置する。
- ・十日町松之山分校を募集停止とする。

<2024年度> 中学卒業生数7人増、1学級減(3増4減)

- ・新潟工業を学科改編する。
- ・久比岐を募集停止とする。

## ◆募集学級に関する質疑

稲荷教育長は委員会の冒頭説明で、松之山分校は「恒常的に定員割れが続いており地元の松之山中学校からのR3年度入学生がなかった。」と募集停止の理由を説明した。また久比岐高校の募集停止について、「定員割れが継続して地元の柿崎中学校からの入学が10%未満で上越や柏崎に進学しており、今後も同様の状況が見込まれる。」と説明した。

新潟工業高校の学科改編については「既存の学科を引き継ぎつつ新たな分野やニーズを検討する」とした。

「県立高校の将来構想」の5つのタイプについて、本会議代表質問で教育長が「1月の中教審答申を踏まえて今後のあり方を検討する」との答弁を行っている。総務文教委員会では将来構想を白紙にするのかとの質疑に、小川高校課長は「将来構想にも、高校教育を取り巻く状況の変化や、国の制度改正などに伴い、必要に応じて本構想の見直しを行っていくことことから今後のあり方を検討していく。スクールミッションの再定義、存在意義や役割など明確にして、地元とも連携していく。」との答弁があった。議員からは中等教育学校のあり方など地元との協議を十分にしていこうと要望する声が上がった。

## ◆募集学級以外の質疑

## &lt;県立高校の事務室兼務問題&gt;

総務課長は「小規模校では標準法により事務室定数も1になり、業務執行体制が不十分となることから近隣校との兼務体制としている。」と答弁したが、事務長等の勤務が不定期では責任持てる体制にならないとして検討を求める意見が上がった。

## &lt;教員採用試験中高一括採用&gt;

教員採用試験の高校枠が少ない原因について、小川高校課長は「昭和60年頃から平成3年にかけて高校生徒数の増加に伴い大量採用があり、その層が50代後半から60代前半を占めている。定年退職者の再任用希望も多く新採用の枠が確保できない。」と説明した。他県は大量採用となっているがとの質問には「他県と採用時期のズレがある」と補足した。稲荷教育長も「3～4年後にまとまった層が退職を迎えることから、採用が拡がることが見込まれる。中学から高校への異動も個々の希望を聞き取りながら進めていく。」との答弁を行った。高校のみの免許所有者が中学の免許を取得する方法について、義務課長は「介護実習等単位数も少なく、長期休業中の公開講座や、教育委員会主催の講習講座で取得できる」との答弁を行った。

## &lt;いじめ対策関連事業&gt;

3年目を迎え県立学校へのさらなる徹底と義務教育へ拡充するとして新規にいじめ対策推進モデル校を3校(城北中、大和中、加治川中)指定した。また実践推進校8校(新潟中央、豊栄、新発田南、長岡農、加茂、小千谷、高田農、佐渡中等)による「自殺予防教育プログラム」の検証、相談窓口の機能強化、スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの配置、総点検・自己点検の実施など状況報告があった。

## &lt;教員の多忙化解消&gt;

勤務実態調査からは時間外勤務が月45時間を超える教職員は、2020年度は臨時休業等で全体としては減少したが、秋以降例年並みに戻り小学校4割、中学校5割、高校2割となっていて依然として深刻な状況となっている。長時間勤務の主な理由として部活動を上げている教職員が多数を占めている。

国が「休日の部活動の段階的な地域移行」を打ち出し、新潟県も「部活動改革検討委員会」を開催し、地域移行のモデル事業を村上市、妙高市、胎内市、長岡市で実施している。

## &lt;ICTを活用した教育&gt;

電子黒板は高校・中等学校の100%が利活用しているが、学習用指導タブレットは72%との数値が示された。臨時休校のあった高校・中等教育学校の動画配信は46校中23校で365本。6月以降ICT活用サポートデスク開設、7月以降ICT支援員の配置を行っていく。今後タブレット端末活用研修、教材の共有など行っていくとしている。新潟翠江、阿賀黎明及び佐渡島内5校と遠隔授業など共同研究していて、秋には遠隔授業の試行を行っていく。

2021募集学級数と2022～2024募集学級数の見込み（新高教本部2021/6/24作成）

支部	学校名	2021	2022	2023	2024	
東新潟支部	新潟南	9	9	9	9	
	新潟江南	7	7	7	7	
	新潟東	7	7	7	7	
	新潟北	5	5	5	5	
	新潟向陽	5	5	5	5	
	豊栄	2	2	2	2	
	万代	6	6	6	6	
	明鏡	4	4	4	4	
	高志中等	3	3	3	3	
	新潟	9	9	9	9	
西新潟支部	新潟中央	9	9	9	9	
	新潟西	7	7	7	7	
	新潟工業	8	8	8	7	
	新潟商業	8	8	8	8	
	新潟翠江	1	1	1	1	
	巻	7	7	7	7	
	巻総合	5	5	4	5	
	新発田	7	7	7	7	
	西新発田	2	2	2	2	
	新発田南	8	8	8	8	
新発田・村上支部	新発田農業	4	4	4	4	
	新発田商業	4	4	3	3	
	村上	4	4	4	4	
	村上桜ヶ丘	4	4	4	3	
	荒川	1	1	1	1	
	中条	2	2	2	2	
	村上中等	2	2	2	2	
	新津支部	新津	6	6	6	6
		新津工業	4	4	4	4
		新津南	4	4	4	4
白根		2	2	2	2	
五泉		5	5	5	5	
村松		2	2	2	2	
阿賀野		3	2	2	2	
阿賀黎明		1	1	1	1	
県央支部	三条	6	6	6	6	
	三条東	5	6	6	6	
	新潟県央工業	4	4	4	4	
	三条商業	4	4	3	3	
	加茂	4	4	4	4	
	加茂農林	4	4	4	4	
	吉田	2	2	2	2	
	分水	2	2	2	2	
	燕中等	2	2	2	2	

※2021.6.24県議会総務文教委員会資料より  
 ※学級数のゴシック体は増・減となる見込み

中等	直江津中等前期	2	2	2	2
	佐渡中等前期	1	1	1	1

支部	学校名	2021	2022	2023	2024
長岡支部	長岡	8	8	8	8
	長岡大手	6	7	7	7
	長岡向陵	5	6	5	5
	長岡明德	4	4	4	4
	長岡農業	3	4	4	4
	長岡工業	5	5	5	5
	長岡商業	4	4	4	4
	見附	3	3	3	3
	正徳館	1	1	1	1
	栃尾	2	2	2	2
魚沼支部	小千谷	5	5	5	5
	小千谷西	4	4	4	4
	堀之内	2	2	2	2
	小出	4	4	4	4
	国際情報	4	4	3	3
	六日町	5	5	5	5
	八海	2	2	2	2
	塩沢商工	3	3	3	3
	十日町	5	6	5	5
	松之山分校	1	1		
柏崎支部	十日町定時制	1	1	1	1
	十日町総合	4	4	4	4
	松代	1	1	2	2
	津南中等	2	2	2	2
	柏崎	5	5	5	5
	柏崎常盤	2	3	3	3
	柏崎総合	3	3	3	3
	柏崎工業	3	3	3	3
	出雲崎	1	1	1	1
	柏崎翔洋中等	2	2	2	2
上越支部	高田	6	6	6	6
	安塚分校	1			
	高田北城	6	6	6	6
	高田南城	2	2	2	2
	高田農業	4	4	4	4
	上越総合技術	5	5	5	5
	高田商業	3	4	3	3
	新井	3	4	3	4
	有恒	1	1	1	1
	直江津中等	3	3	3	2
佐渡支部	久比岐	1	1	1	
	糸魚川	3	3	3	3
	糸魚川白嶺	3	3	3	3
	海洋	2	2	2	2
	佐渡	4	5	5	5
	相川分校	1	1	1	1
	羽茂	1	1	1	1
	佐渡中等	2	2	1	1
	佐渡総合	3	3	3	4
	合計	354	361	352	351
前年比	-16	+7	-9	-1	

教員採用試験 2022年度採用予定人数(新高教20210619支分代資料)

	県名	1次試験	小学校	中学校	高校	特支	養教	備考
1	北海道	6月27日	400	150	150	90	40	
2	青森	7月17日	110	65	30	40	10	
3	秋田	7月17日	150	90	16	22	20	
4	岩手	7月17日	200		70		10	
5	山形	7月17日	190	85	35	30	15	
6	宮城	7月17日	260	160	100	10	若干名	
7	福島	7月17日	270	110	45	50	18	
8	栃木	7月10日	400		60	40	12	
9	茨城	6月27日	390	290	130	90	37	
10	群馬	7月11日	300		45	50	17	
11	埼玉	7月11日	750	500	330	190	35	
12	千葉	7月11日	640	720		165	50	
13	東京	7月11日	1010	1100		180	60	中高は両方の免許必要
14	神奈川	7月11日	350	240	380	135	25	
15	山梨	7月11日	160	65	26	22	17	
16	長野	7月10日	225	135	90	55	20	
17	静岡	7月3日	220	130	130	100	10	
18	新潟	7月4日	255	142		30	25	
19	富山	7月17日	169	144		20	8	2021年度採用数
20	石川	7月17日	140	130		35	10	
21	福井	7月3日	105	77		25	9	
22	愛知	7月17日	850	380	200	80	50	
23	岐阜	7月17日	295	165	120	60	30	
24	三重	7月17日	287	139	51	20	20	
25	滋賀	6月27日	230	130	75	55	25	
26	京都	6月26日	150	90	15	60	10	
27	奈良	6月26日	110	100	58	25	10	
28	和歌山	6月26日	180	96	40	43	27	
29	大阪	6月26日	500	410	330	240	25	
30	兵庫	6月26日	390	270	220	100	40	
31	鳥取	6月27日	120	70	40	25	8	
32	岡山	7月3日	210	100	65	40	15	
33	島根	7月11日	135	70	38	25	10	
34	広島	7月10日	310	180	130	70	20	
35	山口	7月10日	173	86	67	24	10	
36	香川	7月17日	200		51		4	
37	徳島	7月17日	147		52		5	
38	愛媛	7月17日	190	105	90		10	
39	高知	6月19日	130	66	33	30	9	
40	福岡	7月10日	660	290	154	110	34	
41	佐賀	7月11日	190	90	33	26	16	
42	長崎	7月11日	235	105	55	45	20	
43	大分	7月11日	200	115	43	50	17	
44	熊本	7月11日	180	73	34	41	15	
45	宮崎	7月10日	220	81	53	33	12	
46	鹿児島	7月11日	280	95	24	45	24	
47	沖縄	7月11日	200	100	50	17	12	